

News Release

No. 58-22

2021年5月10日

自社業況は製造業主導で大きく改善。 BSIはコロナ感染拡大前の水準を上回る。

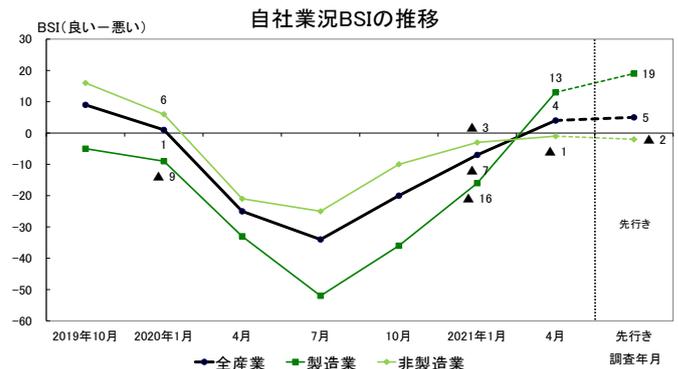
——— 第167回企業経営動向調査より ———

埼玉県内の企業を対象に4月に実施したアンケート「第167回企業経営動向調査」（対象企業1,027社、回答企業数343社、回答率33.4%）によると、景況感や自社の売上高・利益は製造業主導で改善。自社業況のBSIはプラスに転じ、新型コロナウイルス感染症拡大前の水準を上回った。

最近の自社の業況に対する見方は、「良い」とする企業23%、「悪い」とする企業19%で、BSI（「良い」-「悪い」の企業割合）は+4と、前回調査の▲7から11ポイント改善、BSIは1年3カ月ぶりにプラスに転じ、新型コロナウイルス感染症拡大前（2020年1月+1）の水準を上回った。

業種別にみると、製造業はBSI+13で前回調査の▲16から大きく改善したが、非製造業は▲1で前回調査の▲3から2ポイントの改善にとどまった。

先行き（約6カ月後）については「良い」とする企業22%に対し、「悪い」とする企業は17%、BSIは+5とほぼ横ばいとなった。本調査には4月上旬に多くの回答があったが、4/12から東京都等に、4/20から埼玉県等にまん延防止等重点措置が、4/25から東京都等に3回目の緊急事態宣言が発出されており、先行きの不透明感は増している。



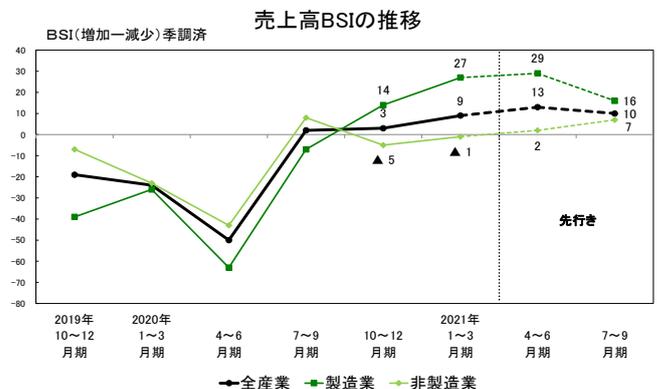
2021年1~3月期の売上高は、季調済BSI（「増加」-「減少」の企業割合、季節調整済）が+9となり、前回調査対象期間（2020年10~12月期）の+3から6ポイントの改善となった。

業種別にみると、製造業はBSI+27で前回調査の+14から13ポイントの改善、非製造業は▲1で前回調査の▲5から4ポイントの改善と、製造業で大きく改善した。

売上高のBSIは、昨年4~6月期には最初の緊急事態宣言発出により大きく落ち込んだが、7~9月期には緊急事態宣言が解除されていたこともあって大幅に改善した。10~12月期は感染症の再拡大がみられ、非製造業では低下の一方、製造業で大きく改善していた。

先行きについては、2021年4~6月期のBSIが+13、7~9月期は+10とプラスで推移する。

（照会先：太田）



(2) 業界景気

(現 状)

最近の自社業界の景気に対する見方は、「上昇」14%、「下降」33%で、BSIは▲19となり、前回調査の▲41から22ポイントの改善となった。

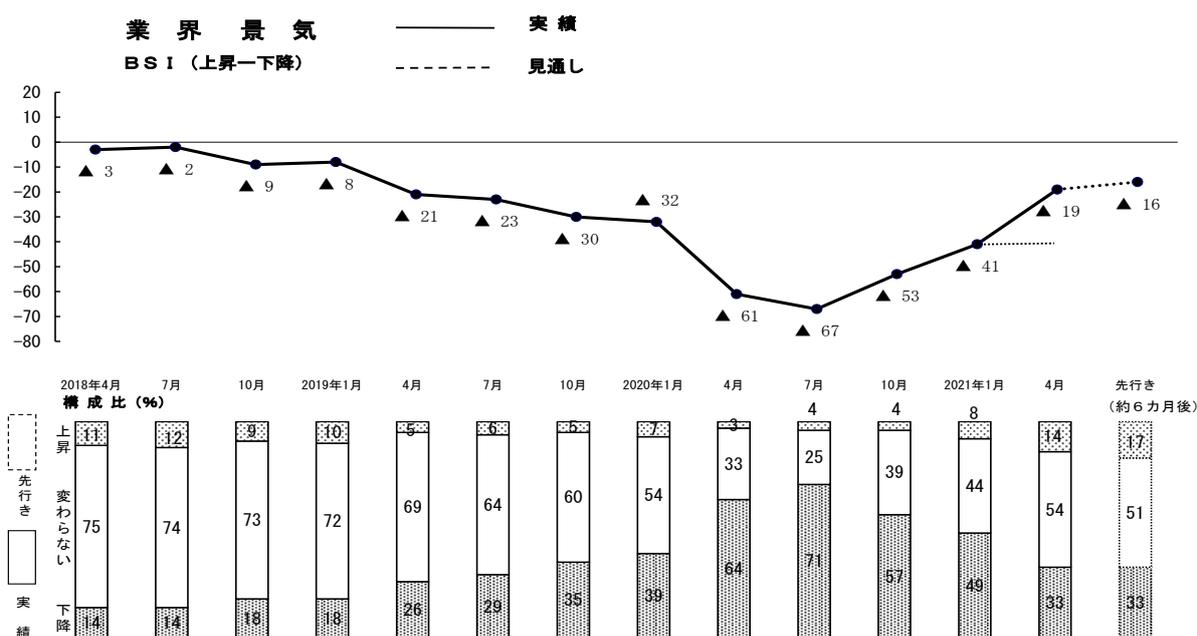
業種別にみると、製造業はBSI±0で前回調査の▲34から34ポイントの改善、非製造業は▲30で前回調査の▲46から16ポイントの改善となり、製造業の改善が目立った。製造業では、「繊維」で前回調査比+75、「金属製品」同+68、「電気機械」同+65、「化学」同+62、「鉄鋼・非鉄金属」同+54などの改善が目立った。一方、非製造業では改善はしているものの、BSIは「飲食店・宿泊」▲89、「小売」▲43、「サービス」▲39など、依然として厳しい業種が残っている。

製造業の改善幅が大きかったのは、中国向けを中心に輸出が増加し、生産が増加したためとみられる。一方、非製造業の改善が製造業に比べて小さかったのは、1月に緊急事態宣言が発出されたことなどから、外食や旅行、対面サービスの利用などを控える動きが出たためとみられる。

(先行き)

先行きについては「上昇」17%、「下降」33%で、BSIは▲16と改善となった。

業種別では、製造業はBSI+3、非製造業は▲26と、いずれも改善となった。



(3) 自社業況

(現 状)

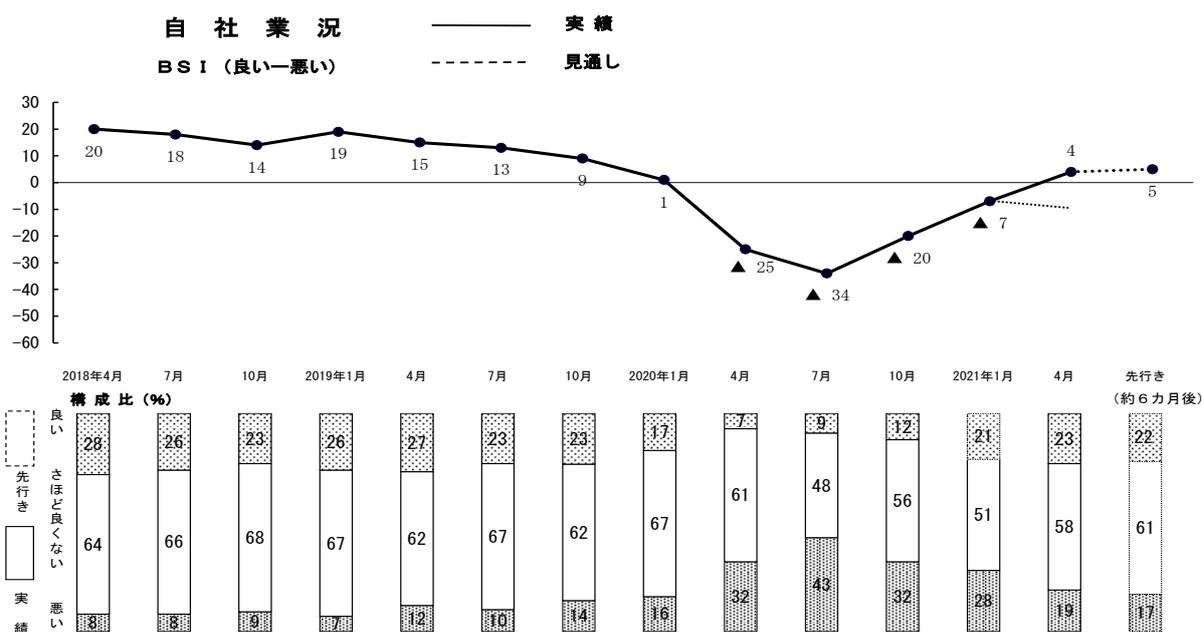
最近の自社の業況に対する見方は、「良い」とする企業23%、「悪い」とする企業19%で、BSIは+4、前回調査の▲7から11ポイント改善し、BSIは1年3か月ぶりにプラスに転じ、新型コロナウイルス感染症拡大前（2020年1月+1）の水準を上回った。

業種別にみると、製造業はBSI +13で前回調査の▲16から29ポイントの改善、非製造業は▲1で前回調査の▲3から2ポイントの改善となり、製造業の改善が目立った。製造業では、「鉄鋼・非鉄金属」で前回調査比+132、「電気機械」同+59、「金属製品」同+28、「化学」同+23などの改善が目立った。一方、非製造業の改善幅は小幅にとどまり、BSIは「飲食店・宿泊」▲78、「サービス」▲23など、依然として厳しい業種が残っている。

(先行き)

先行きについては「良い」とする企業22%に対し、「悪い」とする企業は17%、BSIは+5とほぼ横ばいとなった。

業種別では、製造業はBSIが+19で現状から6ポイントの改善、非製造業は▲2でほぼ横ばいとなった。



2. 経営動向

(1) 売上高

(現状)

2021年1～3月期の売上高は、季調済BSI（「増加」－「減少」の企業割合、季節調整済）が+9となり、前回調査対象期間（2020年10～12月期）の+3から6ポイントの改善となった。

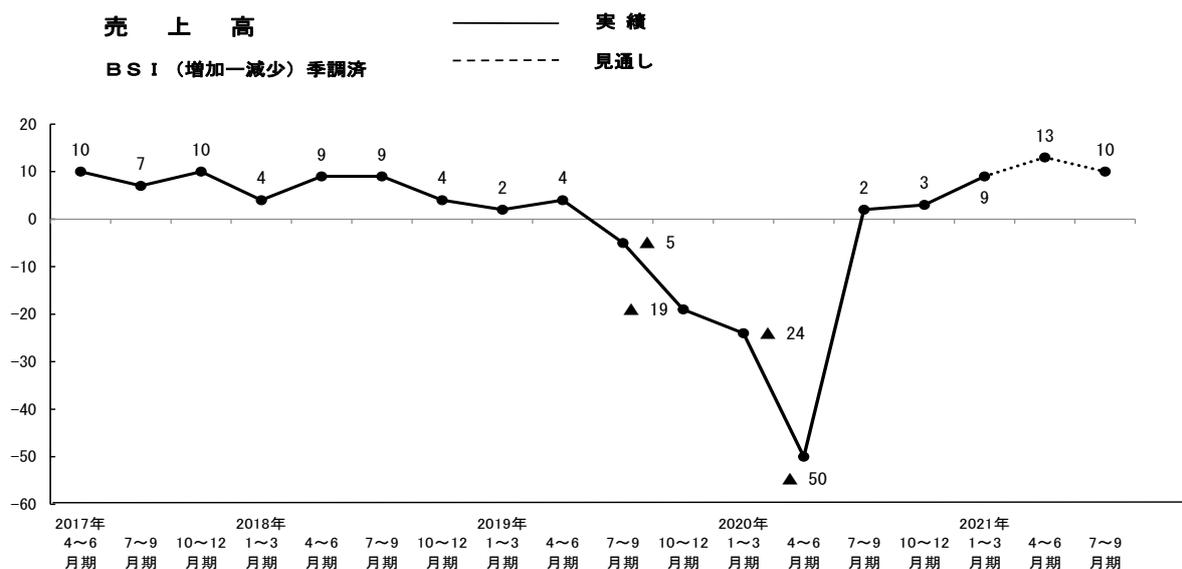
売上高のBSIは、昨年4～6月期には最初の緊急事態宣言発出により大きく落ち込んだが、7～9月期には緊急事態宣言が解除されていたこともあって大幅に改善した。10～12月期は感染症の再拡大がみられ、非製造業では低下の一方、製造業で大きく改善していた。

業種別にみると、製造業はBSI+27で前回調査の+14から13ポイントの改善、非製造業は▲1で前回調査の▲5から4ポイントの改善と、製造業で大きく改善した。製造業では、「食料品」で前回調査比+68、「金属製品」同+52、「電気機械」同+47、「紙・紙加工品」同+43などの改善が目立った。一方、非製造業では改善はしているものの、BSIは「飲食店・宿泊」▲48、「建設」▲15、「小売」▲14など、依然として厳しい業種が残っている。

(先行き)

先行きについては、2021年4～6月期のBSIが+13、7～9月期は+10とプラスで推移する。

業種別では、製造業が2021年1～3月期、4～6月期、7～9月期に+27→+29→+16、非製造業では▲1→+2→+7となっており、非製造業に比べて製造業で売上高が増加するとの見方が多くなっている。



(2) 経常利益

(現 状)

2021年1～3月期の経常利益は、季調済BSIが+7となり、前回調査対象期間（2020年10～12月期）の±0から7ポイントの改善となった。経常利益のBSIは売上高のBSIと同様、昨年4～6月期には最初の緊急事態宣言発出により大きく落ち込んだが、7～9月期には緊急事態宣言が解除されていたこともあって大幅に改善した。10～12月期は感染症の再拡大がみられたことから、小幅な動きとなっていた。

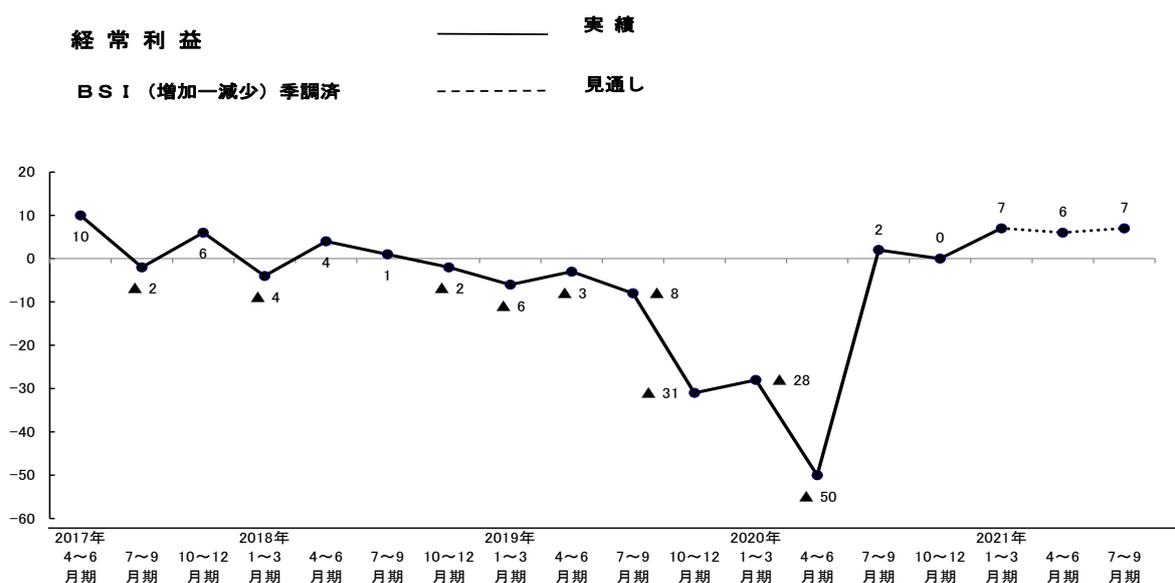
増加の要因（複数回答）としては、「売上・受注の好調」をあげるところが84%、「諸経費の圧縮」41%などとなった。

業種別にみると、製造業はBSI +19で前回調査の+8から11ポイントの改善、非製造業は+1で前回調査の▲6から7ポイント改善した。製造業では、「紙・紙加工品」で前回調査比+65、「電気機械」同+62、「食料品」同+59などの改善が目立った。一方、非製造業では改善はしているものの、BSIは「飲食店・宿泊」▲21、「サービス」▲8、「小売」▲4など、依然として厳しい業種が残っている。

(先行き)

先行きについては、2021年4～6月期のBSIが+6、7～9月期は+7とプラスで推移する。

業種別では、製造業が2021年1～3月期、4～6月期、7～9月期に+19→+19→+13、非製造業では+1→▲2→+3となっており、売上高同様、非製造業に比べて製造業で経常利益が増加するとの見方が多くなっている。



(3) 設備投資

(現 状)

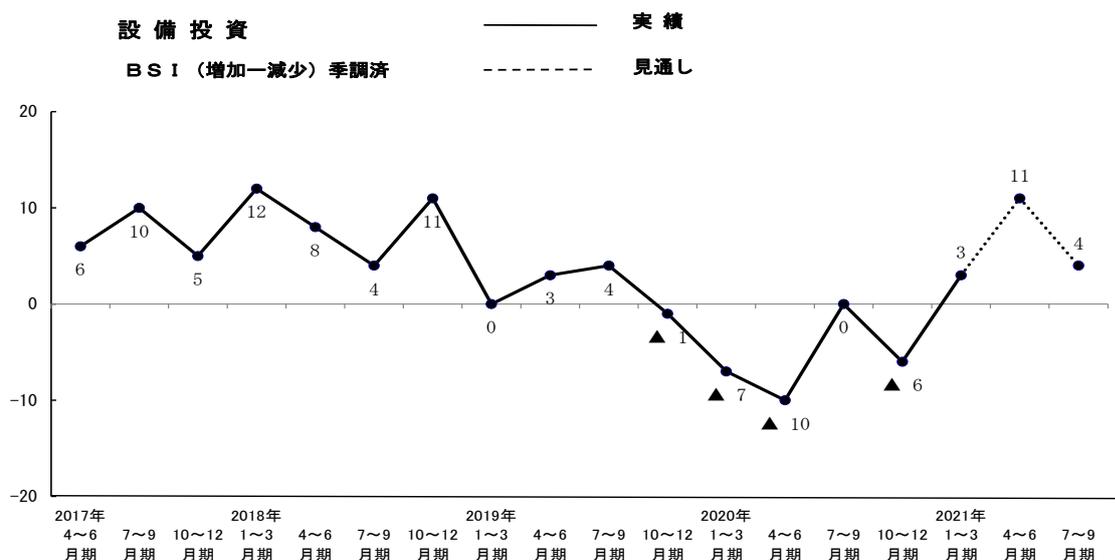
2021年1～3月期の設備投資は、季調済BSIが+3となり、前回調査対象期間（2020年10～12月期）の▲6から9ポイントの改善となった。設備投資のBSIは、昨年4～6月期を底に、振れを伴いながらも改善している。

業種別にみると、製造業はBSI+12で前回調査の▲5から17ポイントの改善、非製造業は▲2で前回調査の▲7から5ポイントの改善となった。製造業では、「鉄鋼・非鉄金属」で前回調査比+72、「金属製品」同+46、「その他製造」同+26などの改善が目立った。一方、非製造業では改善はしているものの、BSIは「飲食店・宿泊」が▲61と低い水準となっている。

(先行き)

先行きについては、2021年4～6月期のBSIが+11、7～9月期は+4となっており、振れを伴いながらも、設備投資のBSIはプラスで推移している。

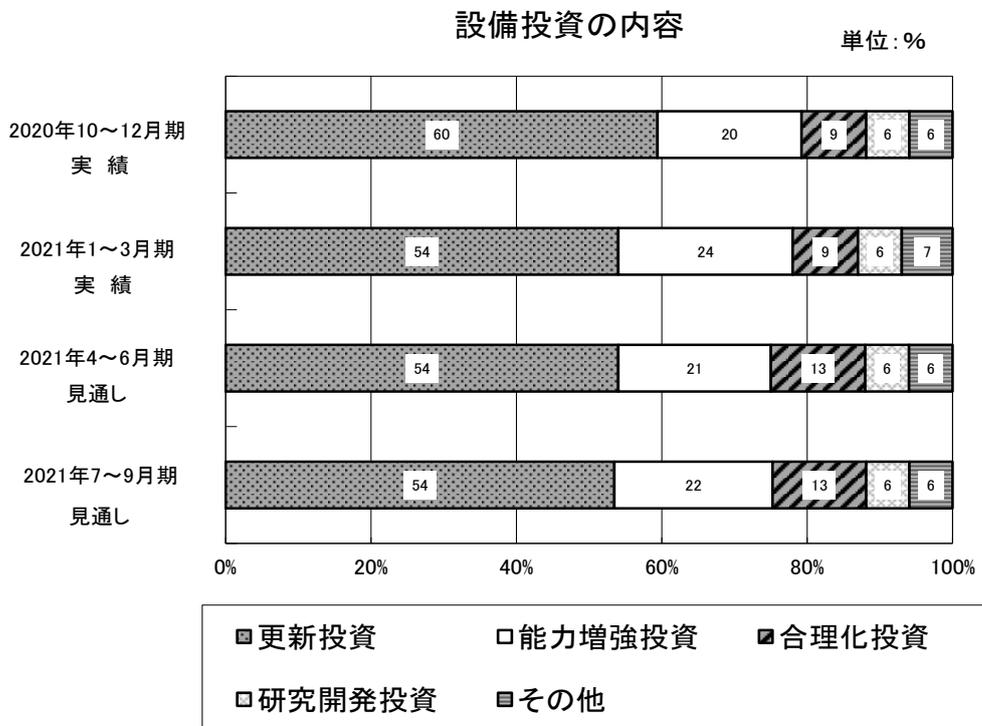
業種別では、製造業が2021年1～3月期、4～6月期、7～9月期に+12→+21→+12、非製造業では▲2→+5→±0となっており、売上高・経常利益同様、非製造業に比べて製造業で設備投資が増加するとの見方が多くなっている。



<設備投資の内容>

設備投資の内容については、2021年1～3月期は「更新投資」が54%、「能力増強投資」24%、「合理化投資」9%、「研究開発投資」6%などとなった。「更新投資」が減少し、「能力増強投資」が増加したが、「更新投資」の比率は5割以上と更新投資中心の内容となった。

2021年4～6月期、7～9月期の見通しについても、引き続き「更新投資」中心となっているが、昨年10～12月実績との比較では、「更新投資」の比率が低下し「合理化投資」の比率が上昇している。



(4) 雇 用

(現 状)

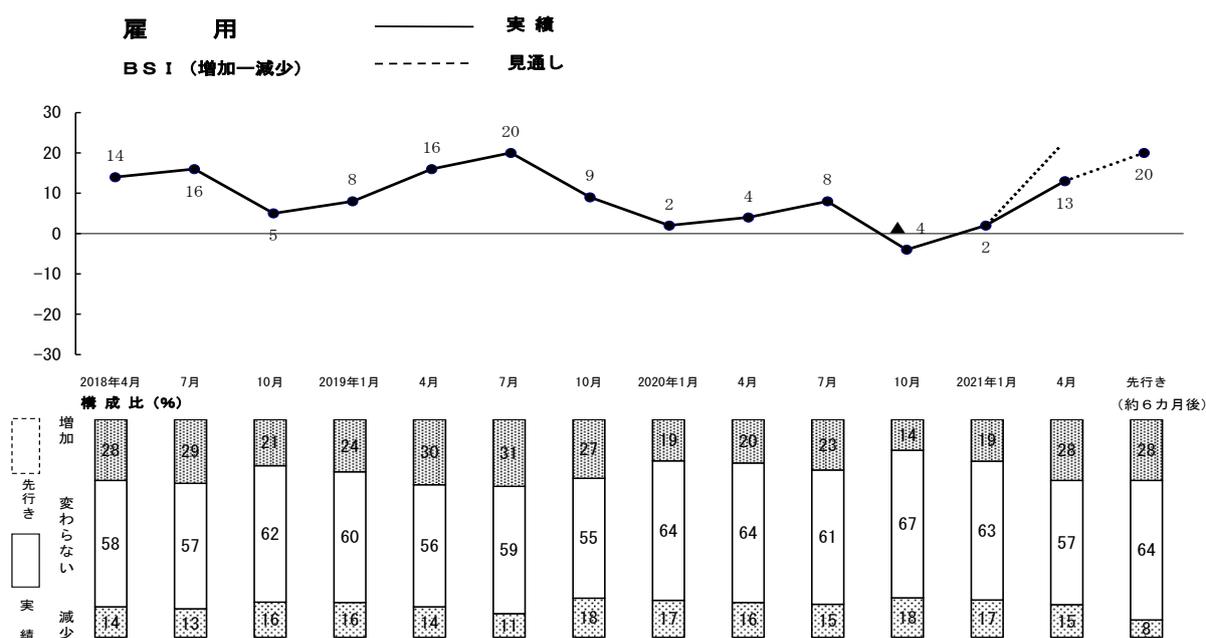
最近（ここ6カ月間）の雇用状況をみると、雇用人員が「増加」とした企業は28%、「減少」とした企業は15%で、BSIは+13と前回調査の+2から11ポイントの改善となった。例年4月調査は新卒者の採用もあり、雇用のBSIは高くなるが、約3割の企業で「増加」としており、雇用は改善が続いている。

業種別にみると、製造業はBSI +15で前回調査の▲2より17ポイントの改善、非製造業は+13で前回調査の+5より8ポイントの改善となった。

(先行き)

先行き（約6カ月後）については、「増加」とする企業が28%、「減少」とする企業が8%でBSIは+20と現状から7ポイントの改善となった。雇用の先行きについては、減少を見込む企業が少なくなっている。

業種別では、製造業はBSI +17で現状から2ポイント、非製造業は+20で7ポイントの改善となっている。



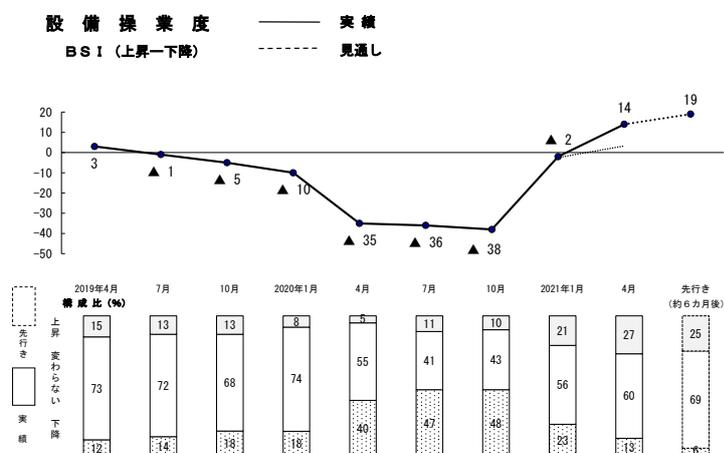
(5) 設備操業度 (製造業)

(現 状)

最近 (ここ6カ月間) の設備操業度は、「上昇」27%、「下降」13%でBSI (上昇-下降) は+14と、前回調査の▲2から16ポイントの改善となった。設備操業度は持ち直している。

(先行き)

先行き (約6カ月後) については、「上昇」25%、「下降」6%となり、BSIは+19と現状より5ポイントの改善となった。



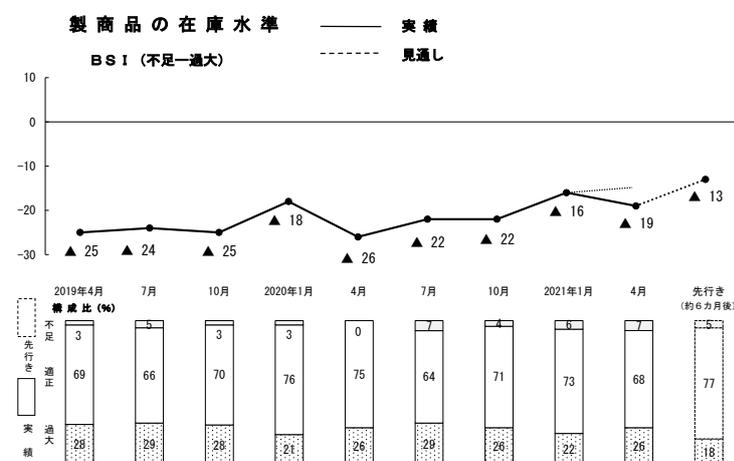
(6) 在庫水準 (製造業)

(現 状)

最近の在庫水準は「不足」7%、「過大」26%でBSI (不足-過大) は▲19と前回調査の▲16から3ポイントの悪化となった。在庫水準について、「過大」とするところがやや多くなっている。

(先行き)

先行きについてはBSIが▲13と、現状より6ポイントの改善となった。先行きについては、在庫が「過大」とする企業が減少している。

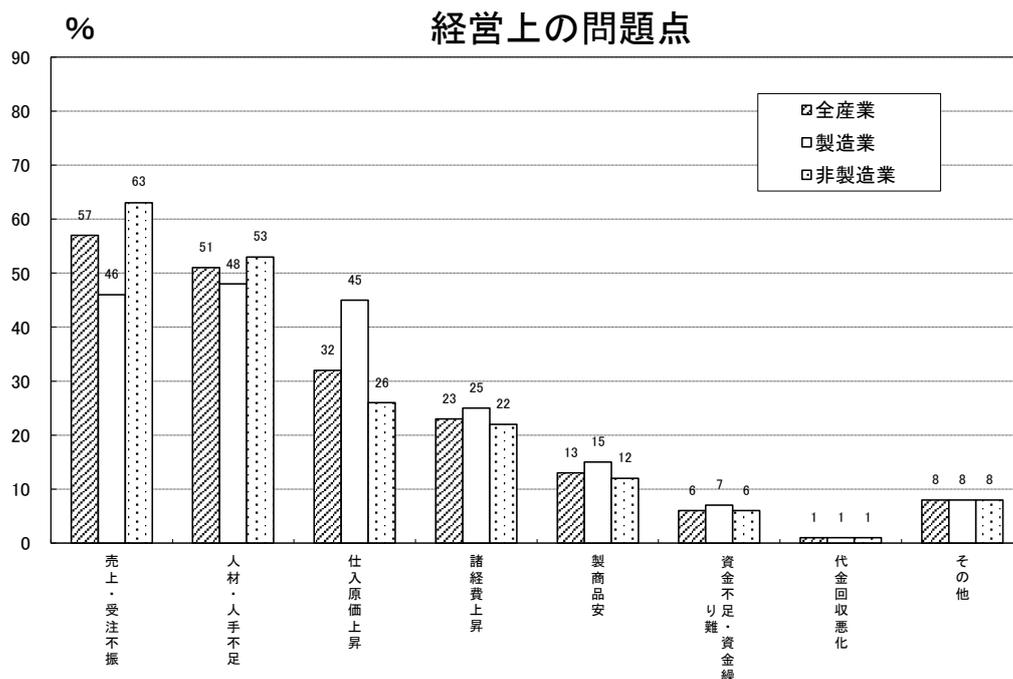


3. 経営上の問題点

経営上の問題点（複数回答）については、「売上・受注不振」が57%と最も多かった。次いで「人材・人手不足」51%、「仕入原価上昇」32%、「諸経費上昇」23%、「製商品安」13%、「資金不足・資金繰り難」6%、「代金回収悪化」1%などとなった。

経営上の問題点については、2020年1月調査までは「人材・人手不足」が最も多かったが、2020年4月調査以降「売上・受注不振」が最も多くなった。

業種別にみると、「売上・受注不振」は非製造業が製造業より17ポイント多いのが目立ち、非製造業では「小売」、「電気・ガス」、「飲食店・宿泊」、「サービス」の7割以上の企業が「売上・受注不振」を回答していた。



付表 業種別項目別BSIの推移

業 種	項 目 期 別	国内景気 (上昇-下降)			業界の景気 (上昇-下降)			自社の業況 (良い-悪い)		
		2021年 1月 前回調査	2021年 4月 今回調査	2021年 9月まで 見通し	2021年 1月 前回調査	2021年 4月 今回調査	2021年 9月まで 見通し	2021年 1月 前回調査	2021年 4月 今回調査	2021年 9月まで 見通し
		全 産 業	▲ 64	▲ 30	▲ 13	▲ 41	▲ 19	▲ 16	▲ 7	4
製 造 業	▲ 59	▲ 12	12	▲ 34	0	3	▲ 16	13	19	
食 料 品	▲ 50	▲ 22	11	0	0	0	12	11	33	
織 維	▲ 100	▲ 12	12	▲ 100	▲ 25	▲ 25	20	25	0	
紙・紙加工品	▲ 45	▲ 10	13	▲ 11	▲ 10	25	▲ 22	▲ 20	13	
化 学	▲ 82	18	7	▲ 37	25	▲ 14	9	32	27	
窯業・土石	▲ 50	▲ 67	▲ 33	▲ 50	▲ 33	▲ 33	▲ 16	33	0	
鉄鋼・非鉄金属	▲ 50	29	43	▲ 25	29	43	▲ 75	57	43	
金 属 製 品	▲ 80	▲ 25	13	▲ 80	▲ 12	13	▲ 40	▲ 12	38	
一 般 機 械	▲ 20	0	67	▲ 20	0	67	▲ 40	33	67	
電 気 機 械	▲ 71	0	16	▲ 57	8	31	▲ 43	16	31	
輸 送 機 械	▲ 53	▲ 6	18	▲ 27	6	▲ 6	0	12	0	
印 刷	▲ 67	▲ 33	▲ 33	▲ 67	0	0	▲ 67	▲ 33	▲ 33	
そ の 他 製 造	▲ 43	▲ 50	0	▲ 15	▲ 18	▲ 18	▲ 7	0	6	
非 製 造 業	▲ 69	▲ 41	▲ 26	▲ 46	▲ 30	▲ 26	▲ 3	▲ 1	▲ 2	
卸 売	▲ 79	▲ 41	▲ 19	▲ 62	▲ 27	▲ 36	▲ 10	2	▲ 16	
小 売	▲ 69	▲ 52	▲ 56	▲ 38	▲ 43	▲ 57	18	13	▲ 5	
建 設	▲ 59	▲ 31	▲ 14	▲ 29	▲ 25	▲ 14	7	14	20	
不 動 産	▲ 64	▲ 27	▲ 36	▲ 55	▲ 5	▲ 21	9	21	10	
運 輸 ・ 倉 庫	▲ 67	▲ 34	▲ 16	▲ 27	▲ 25	▲ 21	11	4	8	
電 気 ・ ガ ス	▲ 50	▲ 40	▲ 60	▲ 50	▲ 20	▲ 20	▲ 13	0	0	
情 報 通 信	▲ 69	▲ 25	0	▲ 8	25	12	8	38	25	
飲 食 店 ・ 宿 泊	▲ 60	▲ 50	37	▲ 100	▲ 89	11	▲ 100	▲ 78	11	
サ ー ビ ス	▲ 74	▲ 53	▲ 34	▲ 61	▲ 39	▲ 31	▲ 12	▲ 23	▲ 19	

項目 期別 業種	売上高 (増加-減少)								経常利益 (増加-減少)							
	原数値				季調値				原数値				季調値			
	2020年 10~12月 実績	2021年 1~3月 実績	2021年 4~6月 見通	2021年 7~9月 見通												
全産業	20	4	5	8	3	9	13	10	15	3	▲3	4	0	7	6	7
製造業	29	15	17	12	14	27	29	16	25	12	7	8	8	19	19	13
食料品	6	▲5	11	11	▲10	58	14	20	▲12	▲16	6	0	▲31	28	19	21
繊維	40	38	▲12	▲13	76	57	▲32	▲15	80	25	▲12	▲13	93	54	▲46	▲43
紙・紙加工品	34	▲20	20	0	0	43	7	16	34	▲10	10	10	▲2	63	▲9	29
化学	64	31	38	38	66	30	60	38	64	19	6	18	51	10	30	26
窯業・土石	17	34	0	▲33	3	15	32	▲40	17	0	▲34	▲67	5	▲19	▲4	▲63
鉄鋼・非鉄金属	0	43	29	14	▲14	7	55	4	50	43	43	14	39	18	73	21
金属製品	0	25	13	63	▲24	28	56	60	0	38	13	75	▲27	15	58	67
一般機械	60	0	67	33	60	▲23	95	44	40	67	67	0	34	36	99	16
電気機械	0	23	7	8	▲24	23	31	7	▲29	23	7	8	▲45	17	32	5
輸送機械	86	25	25	0	58	54	40	5	86	31	▲12	6	53	54	▲9	8
印刷	33	0	0	33	▲11	▲10	47	49	33	0	0	33	▲14	2	27	36
その他製造	0	0	13	0	▲5	1	1	4	▲7	▲19	12	▲6	▲17	▲27	7	4
非製造業	13	20	35	13	▲5	▲1	2	7	9	▲2	▲8	1	▲6	1	▲2	3
卸売	35	▲8	8	▲14	▲16	7	12	▲13	24	▲14	▲10	▲19	▲10	2	▲3	▲11
小売	▲37	11	▲44	▲4	▲34	▲14	▲14	0	▲25	20	▲44	4	▲26	▲4	▲10	7
建設	4	2	8	19	▲19	▲15	31	13	▲4	20	▲2	17	▲24	9	16	9
不動産	37	11	10	21	37	0	21	35	37	16	15	0	45	0	21	27
運輸・倉庫	17	▲9	21	12	▲3	7	6	20	17	▲4	13	5	5	5	6	23
電気・ガス	50	60	▲60	▲40	-	-	-	-	37	20	▲60	▲40	-	-	-	-
情報通信	24	25	37	50	29	▲10	37	40	▲23	25	37	25	▲34	5	40	27
飲食店・宿泊	▲40	▲89	56	45	▲42	▲48	23	19	20	▲67	25	37	12	▲21	2	14
サービス	12	▲6	▲21	▲2	10	3	▲20	▲2	10	▲17	▲18	▲3	1	▲8	▲12	▲4

業 種 期 別	設 備 投 資 (増加-減少)								雇 用 (増加-減少)		
	原 数 値				季 調 値				2021年 1月 前回調査	2021年 4月 今回調査	2021年 9月まで 見通し
	2020年 10~12月 実 績	2021年 1~3月 実 績	2021年 4~6月 見 通 し	2021年 7~9月 見 通 し	2020年 10~12月 実 績	2021年 1~3月 実 績	2021年 4~6月 見 通 し	2021年 7~9月 見 通 し			
	業 種	業 種	業 種	業 種	業 種	業 種	業 種	業 種	業 種	業 種	業 種
全 産 業	▲ 2	3	3	4	▲ 6	3	11	4	2	13	20
製 造 業	2	10	14	15	▲ 5	12	21	12	▲ 2	15	17
食 料 品	25	0	22	▲ 6	11	5	44	▲ 1	12	55	6
織 維	20	25	38	0	26	4	25	0	▲ 20	▲ 17	17
紙・紙加工品	11	30	10	20	4	▲ 15	33	24	13	▲ 20	50
化 学	9	6	25	25	▲ 7	13	39	22	18	25	25
窯業・土石	0	67	0	33	▲ 2	74	17	18	17	0	▲ 33
鉄鋼・非鉄金属	▲ 50	14	57	71	▲ 43	29	41	54	▲ 50	29	29
金 属 製 品	▲ 20	25	▲ 12	0	▲ 24	22	12	12	▲ 20	13	▲ 25
一 般 機 械	▲ 20	▲ 33	▲ 33	67	▲ 14	▲ 44	▲ 17	64	0	0	0
電 気 機 械	▲ 29	▲ 15	▲ 15	▲ 17	▲ 39	▲ 20	▲ 10	▲ 15	▲ 36	25	8
輸 送 機 械	20	6	6	25	13	17	21	17	▲ 7	13	25
印 刷	0	0	0	0	8	3	15	▲ 7	▲ 17	33	0
そ の 他 製 造	0	19	25	19	▲ 8	18	25	25	22	▲ 12	38
非 製 造 業	▲ 6	▲ 1	▲ 2	▲ 2	▲ 7	▲ 2	5	0	5	13	20
卸 売	▲ 3	6	0	0	1	4	7	▲ 1	0	23	22
小 売	▲ 14	▲ 4	0	▲ 8	▲ 7	▲ 5	4	▲ 7	19	12	▲ 16
建 設	▲ 16	0	▲ 18	▲ 9	▲ 14	▲ 3	▲ 16	▲ 4	12	17	29
不 動 産	9	0	0	5	8	0	▲ 8	3	18	25	19
運 輸 ・ 倉 庫	12	34	▲ 8	▲ 8	5	22	10	1	16	0	29
電 気 ・ ガ ス	0	20	▲ 20	0	-	-	-	-	12	20	20
情 報 通 信	17	0	13	13	24	▲ 1	▲ 1	10	7	38	25
飲 食 店 ・ 宿 泊	0	▲ 67	0	56	▲ 2	▲ 61	33	59	▲ 60	11	56
サ ー ビ ス	▲ 15	▲ 8	7	▲ 10	▲ 16	▲ 6	11	▲ 11	▲ 5	2	20

業 種	項 目 期 別	設備操業度 (上昇-下降)			在庫水準 (不足-過大)		
		2021年 1月 前回調査	2021年 4月 今回調査	2021年 9月まで 見通し	2021年 1月 前回調査	2021年 4月 今回調査	2021年 9月まで 見通し
		全 産 業	-	-	-	-	-
製 造 業	▲ 2	14	19	▲ 16	▲ 19	▲ 13	
食 料 品	0	0	18	▲ 27	▲ 16	▲ 12	
織 維	▲ 20	0	0	▲ 40	▲ 33	▲ 67	
紙・紙加工品	0	20	25	13	▲ 10	▲ 13	
化 学	46	33	33	▲ 18	▲ 33	▲ 6	
窯業・土石	16	33	0	0	0	▲ 33	
鉄鋼・非鉄金属	▲ 75	15	15	50	29	29	
金 属 製 品	20	0	25	▲ 20	▲ 25	▲ 38	
一 般 機 械	▲ 25	33	33	▲ 25	▲ 33	▲ 33	
電 気 機 械	▲ 46	▲ 8	25	▲ 21	▲ 8	0	
輸 送 機 械	20	25	6	▲ 7	6	▲ 6	
印 刷	▲ 17	0	0	0	0	0	
そ の 他 製 造	0	25	19	▲ 46	▲ 63	▲ 19	
非 製 造 業	-	-	-	-	-	-	
卸 売	-	-	-	-	-	-	
小 売	-	-	-	-	-	-	
建 設	-	-	-	-	-	-	
不 動 産	-	-	-	-	-	-	
運 輸 ・ 倉 庫	-	-	-	-	-	-	
電 気 ・ ガ ス	-	-	-	-	-	-	
情 報 通 信	-	-	-	-	-	-	
飲 食 店 ・ 宿 泊	-	-	-	-	-	-	
サ ー ビ ス	-	-	-	-	-	-	

<調査手法>

わが国の代表的な景気動向調査として、日本銀行の「企業短期経済観測調査（短観）」と内閣府・財務省の「法人企業景気予測調査」とがあります。本調査はそれらの全国ベースの調査に対応する地域ベースの調査として、埼玉県内における経済産業動向や企業経営動向をアンケートの方法によって集計・調査したものです。

本文中にあるBSIは、ビジネス・サーベイ・インデックス（Business Survey Index）の略で、質問事項に対して「増加」「変わらない」「減少」の各要素を持つ3種類の選択肢を用意し、このうち増加要素を持つ選択肢に回答した企業の割合から、減少要素を持つ選択肢に回答した企業の割合の差をとったもので、企業の景況判断についての強弱感を指標化したものです。BSIのプラスは景況の好転、マイナスは景況の悪化を表しています。例えば、回答した企業500社のうち150社（30%）の企業で売上が増加し、50社（10%）の企業が減少した場合、BSIは次のように20となります。

$$BSI = (150/500 \times 100) - (50/500 \times 100) = 30 - 10 = 20$$

<調査要領>

1. 調査の目的

埼玉県内における経済産業動向、企業経営動向を調査して、地域内企業の経営判断の参考に供するとともに、地域経済産業の発展に寄与することを目的としております。

2. 調査対象企業

県内に事業所を置く企業の中から、概ね従業員10名以上の企業を抽出、産業分類は製造業12業種、非製造業9業種、計21業種に分類しました。対象企業の業種別内訳は別表のとおりです。

3. 調査時期 2021年4月

4. 調査方法

最近と先行きの景気・業況判断、2020年10～12月期の経営動向及び2021年1～3月期、4～6月期の経営予測をアンケート方式により調査しました。

5. 回収状況

アンケートの回答企業は対象企業1,027社のうち、343社（回答率33.4%）。回答企業の業種別内訳と中小企業（中小企業庁方式）の占める比率は別表のとおりです。

別 表

業種別対象・回答企業数

	対象企業数	回答企業数	業種別構成比 (%)	うち中小企業 の占める比率 (%)
全 産 業	1,027	343	100.0	93.9
製 造 業	391	121	35.3	98.3
食 料 品	50	18	5.2	100.0
織 維	21	8	2.3	100.0
紙・紙加工品	20	10	2.9	100.0
化 学	50	16	4.7	100.0
窯 業・土 石	20	3	0.9	100.0
鉄鋼・非鉄金属	19	7	2.0	100.0
金 属 製 品	21	8	2.3	100.0
一 般 機 械	48	3	0.9	100.0
電 気 機 械	39	13	3.8	100.0
輸 送 機 械	48	16	4.7	87.5
印 刷	21	3	0.9	100.0
そ の 他 製 造	34	16	4.7	100.0
非 製 造 業	636	222	64.7	91.4
卸 売	80	37	10.8	94.6
小 売	90	26	7.6	69.2
建 設	85	36	10.5	100.0
不 動 産	48	19	5.5	100.0
運 輸・倉 庫	68	24	7.0	100.0
電 気・ガ ス	17	5	1.5	100.0
情 報 通 信	40	8	2.3	100.0
飲 食 店・宿 泊	42	9	2.6	88.9
サ ー ビ ス	166	58	16.9	86.2